

北海道白糠養護学校

学校だより

第2号 平成30年6月8日発行
発行責任者 校長 菅原 康之

【お問い合わせ先】

北海道白糠養護学校 学芸部
〒088-0351 白糠町和天別147-2
TEL/FAX 01547-2-5353
代表メール hakuyou@hokkaido-c.ed.jp
HP <http://www.shiranuka-yougo.hokkaido-c.ed.jp/>

彩りの6月



教頭 梶山 千恵子

早いもので白糠養護学校に赴任してから2ヶ月が過ぎようとしています。どことなくグレーがかったモノクロームな雰囲気を出していた白糠町も、ここ数日できれいな青空や新緑、職員室前ではきれいなピンクの桜が咲き「色」が増えてきたなと感じられます。

前任校は小学部、中学部、高等部、訪問教育学級と総勢120名になる学校でしたが、ここ白糠養護学校の生徒総数は15人と言うことで、ちょっぴり「寂しいのかな？」等と考えながら赴任しましたが、そんな不安もどこへやら毎日元気に活動する児童生徒の様子を見ることができます。

4月当初に小学部の音楽の授業に誘ってもらい、一緒に学習を受けることができました。歌唱、鑑賞、表現、器楽演奏と45分の授業時間の中にたくさんの内容がありましたが、最後にお楽しみのダンスができるということを約束し、集中して授業を受ける様子を見ることができました。無事にダンスができることになり、一緒に踊りましたが、次の日からは毎日おはようの挨拶の後にはダンスのポーズをしてくれ、次の授業も来てくださいと誘ってもらえるようになりました。コミュニケーションの手段は児童それぞれですが、人との関わりを楽しむようになっているのではないかと考えました。また、この授業の最後にダンスができるで見通しを持つこと、お楽しみのダンスができるようにたくさんの学習内容を意欲を持って取り組む事など、今までの指導が根付いているのだなと感じました。また、その期待に応えることのできる児童達なのだろうと感心しています。

6月に入ると7月の運動会に向けた練習が始まります。今までの経験から、運動会までの練習や運動会当日の活動を見通しながら、カー杯練習に取り組み、笑顔一杯の児童生徒の姿が毎日見られるのではないかと今からワクワクしています。

児童生徒への応援をどうぞよろしくお願いいたします。

平成30年度サマーセミナーIN しらぬかのご案内

7月26日（木）9：00～12：00の日程で「サマーセミナーIN しらぬか」を開催いたします。北海道肢体不自由教育研究協議会の後援を受け、今年も本校及び近隣の特別支援学級の教員、保護者の皆様や福祉施設関係の方々にも参加していただける講座を用意し、幅広く呼びかけさせていただいております。

今回は北海道手稲養護学校から磯田直樹氏を講師に迎え、肢体不自由教育における子どもの見方や関わり方、捉え方について、子どもの表現する（非言語も含めた）言葉をいかに引き出しながら学習活動を展開するか、といった内容で講演をしていただく予定です。今年度、本校では「主体的・対話的で深い学び～子どもの主体性を引き出し、展開できる授業をめざして～」をテーマに校内研究に取り組んでいます。児童・生徒一人一人が学習の中心となり、自ら学習に向かうために必要なポイントについて、みなさんと一緒に学ぶ機会にしたいと考えています。

申し込み方法、詳細等は、近日中に本校ホームページにアップいたしますので、ご参照ください。
（研究部：吉田遼太郎）

本校のホームページの紹介

北海道白糠養護学校のホームページを随時更新しています。下記のアドレスへアクセスすると、校舎や児童生徒の作品が表示されるトップページを見ることができます。トップページには、近々の予定や、くろーばーねっとわーく・学校評価・学校評議員会・お問い合わせ・アクセス更新情報などがアップされています。更に「学校案内」「特別支援教育」「教育・発達相談」「入札情報」の各ページへ行って必要な情報を閲覧することができます。特に「学校案内」と「特別支援教育」のページには行事の様子や教材紹介、コラムなどホットな情報が満載です。ぜひ一度ご覧ください。

本校のホームページでは、個人情報に留意しながら、児童生徒の学習の様子や行事の様子を発信して、本校の教育活動への御理解、御協力を深めていきたいと考えています。随時更新していきますので、たくさんご覧になって本校の取り組みを知っていただければ幸いです。（学芸部：山本毅弘）



本校ホームページ URL：<http://www.shiranuka-yougo.hokkaido-c.ed.jp/>

第38回白糠養護学校大運動会

7月7日土曜日、(9:30~12:00)に第38回大運動会が行われます。

今年度は、小学部3名、中学部6名、高等部6名の合計15名の児童生徒が紅組と白組に分かれて競技をします。各児童生徒が主に「運動」や「体育」、「からだの学習」の成果を発揮する「個人競技」、各学部オリジナルの競技に取り組む「学部競技」、当日ご来場の幼児児童・卒業生・一般の方が参加する「幼童一般競技」、全校児童・生徒が力を合わせて取り組む「全校競技」があります。また、「ふれあい競技」とオープン競技「駒踊り」では、保護者・白糠学園職員の皆様はもちろん、地域の方にもご参加・ご協力頂いて行いますので、ふるってご参加頂ければと思います。一人でも多くの方に児童生徒の活躍を見に来て頂き、皆で運動会を作り上げ、盛り上げて行けたらと思います。当日は日頃の学習や練習の成果を力いっぱい発揮できるよう、児童生徒はもちろん、教職員一丸となって努力して参りますので、たくさんのご声援を宜しくお願い致します。(健康安全部：高橋 英治)

<交通安全教室が行われました>

平成30年6月5日(火)3校時目に、本校に交通安全推進員の方が来校され、交通安全教室が行われました。はじめに、全体で注意事項を確認し、その後安全に気をつけながら国道沿いの歩道を教員と児童・生徒と一緒に歩き、学校へ戻ってきました。途中で、簡易の歩道と信号機を設置し、車の往来や危険が無いかを確認して手を挙げて、横断歩道を渡る様子も見られました。これから、一層交通安全への意識を高める必要があるため、今後の社会生活で必要な知識の理解の啓発と関心を高める活動となりました。

(生徒指導部：印牧 遥)

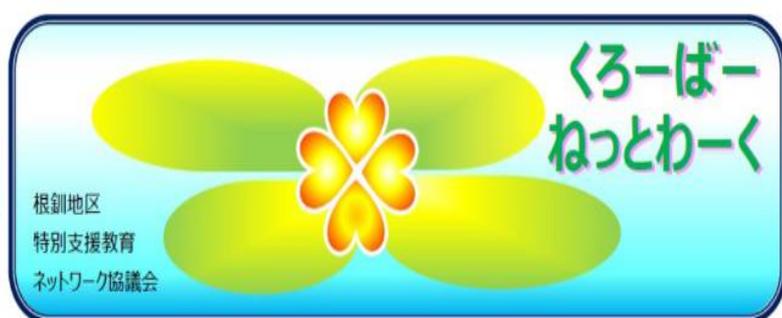


～特別支援教育コラム(相談支援部より)～

前号でお知らせしましたとおり、本校の特別支援教育コーディネーターは今年度一名になりました。6月下旬からパートナーティーチャー派遣事業で地域の幼・小・中・高等学校へ伺うこととなりますが、よろしくお願ひします。その際、ご相談内容に応じて本校の自立活動教諭も伺うこととなります。新しい自立活動教諭2名で、2名とも前職が学校関係ではありませんが、医療や行政の経験からも今後皆さんのお力になれると思います。



さて、私の仕事上発達検査等行うことがあります。皆さんもご存じの通り、検査には数値化がつきもので、平均を100としてどのくらいの発達状況を数値で表したり、今の年齢に対して何歳くらいであるかを出すこととなります。数値化することはいろいろな判断材料になりますので必要だとは思いますが、私たち教員はその数値(結果)に一喜一憂することは避けなければなりません。数値だけで判断せず、また「できる」「できない」だけでなく、「ここまでできる」「こうすればできそう」「こんなふうにとらえているのでは」「こんなところにつまずいている、困っているようだ」という学習や指導に活かせる、参考になるような視点を持つことが大切です。(特別支援教育コーディネーター 犬養幸恵記)



お困りごとがあったら？連絡してください！

根釧地区特別支援教育ネットワーク協議会(くろーばーねっとわーく)とは、根釧地区特別支援教育ネットワーク協議会のことで、根釧地区にある4つの特別支援学校の連携組織です。根室・釧路管内の教育にかかわる相談を全般的にお受けしています。

<http://www.clover-net.hokkaido-c.ed.jp/>